

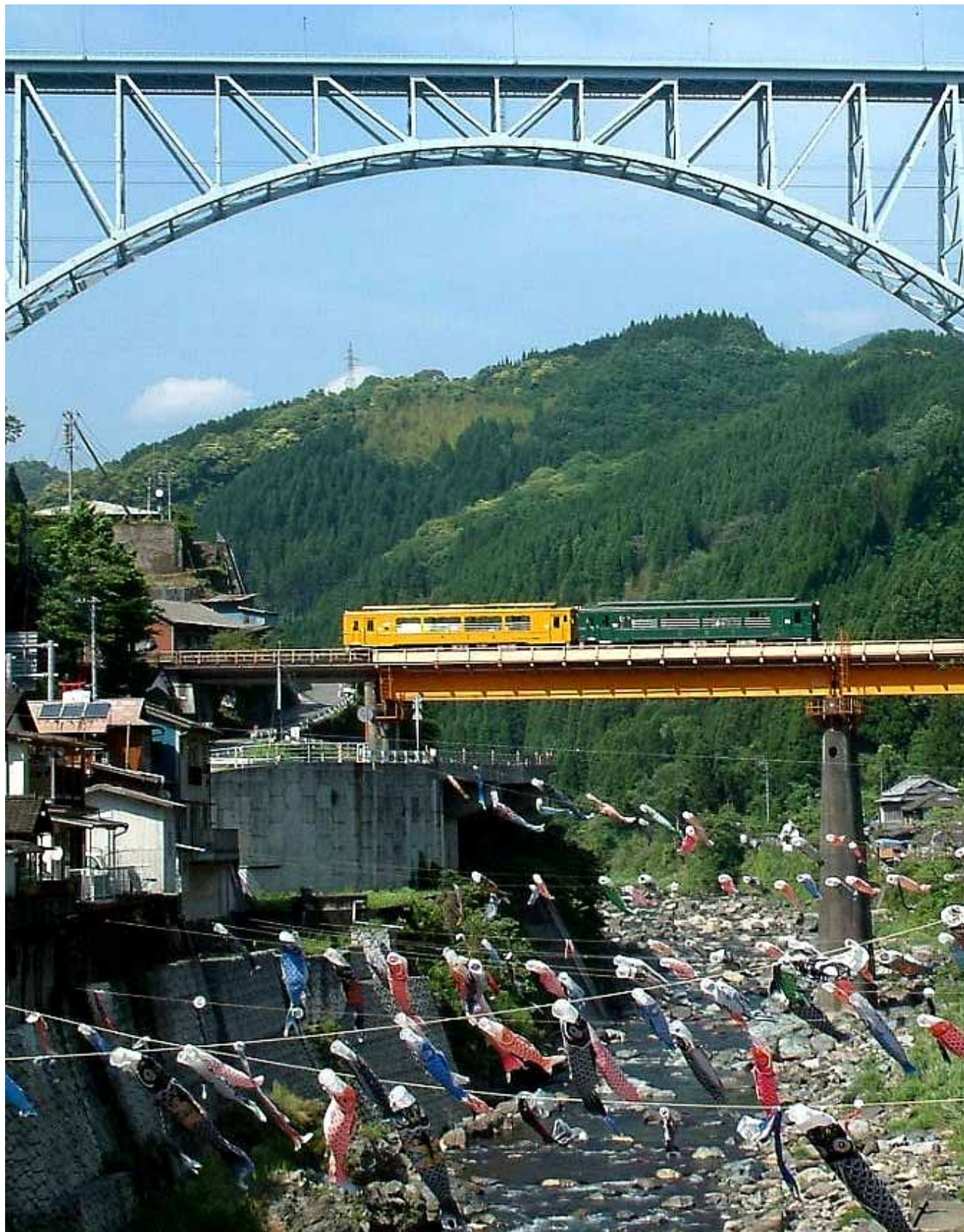
神話伝説の山里

「高千穂郷」通信

平成16年 5月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.17



日之影溪谷に今年も約200匹のこいのぼりが泳ぎました(日之影町商工会青年部が実施)

国道325号 田原バイパス全線開通



今回の開通区間の主要構造物である田原新橋（橋の長さL = 104m）
（平成16年4月1日撮影）

登坂車線も整備



田原さん夫妻と山口さん夫妻らの三世代家族が渡り初めを行いました。



全線開通を祝って、関係者によるテープカットが行われました。



橋名板の文字を書いていた田原小・中学校の皆さん。
左から内倉麻里香さん(田原中3年)、
佐藤翔梧君(田原中1年)、
佐藤領真君(田原小5年)、
甲斐夕加里さん(田原中1年)



上田原芸能保存会の棒踊り



田原小・中学校の児童生徒によるなぎなた隊

国道325号田原バイパスが四月二七日、全線開通しました。全線開通で区間距離は約三・五、所要時間は車で約一四分短縮されました。離合が困難だった箇所も解消されました。このバイパスの開通により、熊本県へのアクセスが向上し、物流拡大のほか、阿蘇と高千穂を結ぶ観光ルートとしても期待されています。



【田原バイパス概要】

国道325号は、久留米市を起点として、山鹿市、高森町などを経由し、高千穂町に至る延長150.6kmの幹線道路です。

本県側は、田原バイパスとして、昭和63年度から事業に着手し、河内、田原、荒神の3地区に分けて整備を行い、河内・荒神地区は平成9年度に完成しました。

残る田原地区については、平成12年9月に玄武山トンネルが完成しており、今回、田原新橋を含む1,680mが完成し、総延長6,700mの田原バイパスが全線開通しました。

【データ】
 総延長 6,700m
 総事業費 約120億円
 主要構造物 寧静ループ橋(210m)、
 夕塩橋(156m)、新西河内橋(163m)、
 田原新橋(104m)、荒神橋(180m)、
 玄武山トンネル(1,022m)

西臼杵の肉用牛の将来について研修会が行われました

4月13日、日之影町肉用牛振興会総会が開催され「西臼杵地域における肉用牛振興の取組状況と今後の課題」と題した研修会が行われました。



参加した約150名の生産者は熱心に聞き入っていました。



研修会の講師を務めた支庁農政水産課鴨田主査

研修会は、西臼杵支庁農政水産課鴨田主査が講師となり、肉用牛増頭運動の展開、国産粗飼料確保への取組み、管内農家の現状と今後の飼養状況予測等について、スライドを交えながら行われました。

特に、管内農家の現状と今後の飼養状況予測については「西臼杵郡管内の肉用牛戸数は、過去10年平均で約60戸/年減少しており、現在の1,300戸余りが、平成25年には、930戸に減少すると予測されます。今後、肉用牛産地を維持、拡大していくためには、農家個々の取組みだけではなく地域・集落全体で肉用牛生産を支援する仕組みづくりが重要」との話がありました。

今回の研修をきっかけに、「西臼杵版肉用牛生産支援体制」が確立され、生産基盤の安定が期待されます。

「県道下野鹿狩戸線道路改良工事」起工式

「県道下野鹿狩戸線道路改良工事」の起工式が、4月21日に行われました。

この工事は、県の「やすらぎ施設連携支援道路整備事業」により行うもので、同県道の下野地区の隘路となっている区間を改良します。

現在計画されている広域農道と一体的に整備し、連結させることにより、下野地区から岩戸地区へのアクセスの向上を図るものです。

この整備を行うことにより、地域内交通ネットワークの強化が図られ、天岩戸温泉等のやすらぎ施設との交流を促進します。



関係者、地元住民が参加して起工式が行われました

【工事の内容】

計画延長(全体)
約1.5km
全体事業費
約6億3千万円
計画幅員
8.0m
(車道2.75m×2、
歩道幅員2.5m)

「やすらぎ施設連携支援道路整備事業」は、県内の各やすらぎ拠点を一体的に活用できる環境を整備するため、各拠点を結ぶ国県道で隘路となっている区間について、国庫補助事業と連携し重点整備を行うものです。

”新茶の季節です”西臼杵特産釜炒り茶の手炒り実演会と新茶販売会開催

八十八夜の恒例行事、五ヶ瀬町の茶業青年グループ「新緑会」(興相洋一会長、16名)による釜炒り茶の手炒り実演会が、今年も5月1日に五ヶ瀬町特産センター「ごかせ」で行われました。当日は、半日程かけて茶葉の加工を行ったほか、茶の加工品の販売等も行われ、釜炒り茶の香りに誘われた観光客で大盛況でした。

また、5月2日には高千穂町茶業振興会(飯干敏光会長、51名)が新たな取組みとして、道の駅「高千穂」において、新茶販売会を行いました。

いずれの会場でも、観光客の方々から「香りがあり、適当な甘味がある」、「飲みやすく、冷めてもおいしそう」といった話があり、会員の皆さんも今後の生産への意欲を新たにしていました。

どうぞ、皆様も西臼杵の釜炒り茶をご愛飲ください。

五ヶ瀬町の茶業青年グループ「新緑会」の釜炒り茶実演会



手炒りの様子



むしろの上でもみ、乾燥させて再び釜に入れることを繰り返します。

高千穂町茶業振興会の新茶販売会



県内外からの観光客(新潟県からという方も!)にPR



新茶時期限定の茶葉てんぷら



観光客に新茶を振る舞いPR



釜炒り茶に関するアンケートも実施

第5回石垣の村棚田まつり

第5回石垣の村戸川棚田まつりが4月24日、日之影町戸川地区の石垣茶屋周辺で開催されました。

棚田のステージでは、日之影町青年団(会長:松田博喜)の沖縄伝統芸能「エイサー」、平清水神楽保存会の「日之影神楽公演」、「戸川PR大使」の金子裕則さんなどのコンサート、もちまきなどたくさんの催し物が行われました。



棚田をバックにして行われた平清水神楽保存会の日之影神楽



延岡高校OBのシンガーソングライターで、「戸川PR大使」の金子裕則さんとその仲間のコンサートが行われました。

「石垣の村」戸川は、戸数7戸の静かな集落です。戸川地区は、平成11年には「日本の棚田百選」に選ばれ、翌年には「第8回美しい日本のむら景観コンテスト」において全国農業協同組合中央会長賞を受賞しています。



棚田まつりにあわせて、「日之影温泉駅」から戸川まで約8kmのトロッコ軌道を歩く「日之影溪谷トロッコ道ウォーキング」が行われました。(トロッコ道ウォーキングコースは、平成14年に読売新聞社の選ぶ「日本の遊歩百選」に認定されています。)

編集後記

今月号から担当することになりました。高千穂郷通信は、4月号から関係機関に加えて西臼杵郡3町の公民館を通じて、全家庭に回覧をしてもらうようになりました。西臼杵支庁の広報紙として、分かりやすく、いろいろな情報を伝えることができるよう努力していきたいと思っています。表紙の写真を撮るために、4回現場に行きました。やっと、トロッコ列車と風が揃って、絶好のシーンだと思っていたら、それまで何度も電源を入れたり、消したりして準備しているうちにデジカメの電池が切れていて、シャッターチャンス逃してしまいました。自分の目には焼き付いているのですが……。がんばります。修

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

100 古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

第33回全国林業後継者大会で五ヶ瀬町的那須さんがスピーチ



堂々としたスピーチを行った那須さん

「第55回全国植樹祭」の記念行事として、4月24日に「第33回全国林業後継者大会」が日向市で開催されました。

大会の目玉として「どうする日本の森林・林業」と題して全国の後継者の代表6名によるスピーチが行われ、五ヶ瀬町林業研究グループの那須政彦さんがスピーチをしました。

高千穂峡で安全祈願祭

県内で一番の観光客数を誇る「高千穂峡」の観光安全祈願祭が、高千穂町観光協会の主催により4月23日に行われました。

神事のあと、佐藤高千穂町観光協会会長、小野高千穂町助役が高千穂峡に献酒を行い、1年間の安全を祈願しました。

水に感謝しながら、多くの観光客が、事故やけがなく楽しい思い出ができることを願います。



観光関係者約50名が参加した安全祈願祭



西臼杵支庁だより

全国野鳥保護のつどいについて

来年5月15日(日)、高千穂町総合運動公園の武道館を式典会場に、第59回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」が開催されます。

(シンボルマーク)



(キャッチフレーズ)

「鳥たちと神話の森にうたう夢」

この度、シンボルマークとキャッチフレーズが決定しました。

シンボルマークは、佐土原高校3年生の小畑海香さんがデザインした作品が選ばれました。

キャッチフレーズは、熊本市の園田浩さんの作品が選ばれました。